

令和4年度第3回学校魅力強化委員会議事録

開催日	令和4年9月13日（火） 於 白石高校普通科キャンパス会議室
開催時間	15:00～16:30
出席者数	委員7名 事務局5名 アドバイザー1名
出席者氏名	委員：川崎、筒井、岩吉、平井、林、門田、溝口 事務局：平山、小川、北村、鶴田、野見山 アドバイザー：門脇
会議次第	1 コーディネーター紹介 2 議 事

議 事

(1) 学校評価中間評価について報告

(2) 地域と学校の状況について

- ・杵島郡全体の人口はこの10年間で減少している。
- ・中学校別入学者数は、年度によって上下しており傾向はつかみにくいですが、武雄市からの割合は近年高くなってきている。
- ・入学者数は商業科において、合併前・R2年・R4年に定員割れを起こしている。昨年度は近隣の中学からの入学者が減ったことも要因の1つである。
- ・体験入学希望者数に関しては、令和3年度に比べて令和4年度的人数が普通科で57人・商業科で12名増加したが、体験入学をキャンパス別日程で行う等、昨年度とは条件が違うので安心はできない。全県一区の影響についても不確定である。

(3) 学校評価システムによる評価結果

(4) ワークショップ

テーマ・・・～生徒にとって学校の魅力とはどこにあるのか？～

※グループ内で、学校外環境・通学・部活・学習・校則や服装・校風・授業・先生等の点において活発な意見交換が行われた。特に熱心に議論されたのは、以下のことであった。

・学校外で生徒がコミュニケーションをとれる場所があること⇒電車の待ち時間や保護者との待ち合わせに使えるメリットがあり、その場所で宿題ができたり、進路の相談などができる場所があるとより良い。全国では自治体が運営する【公営塾】が開設されているところも増えている。

・寮などの住む場所があること⇒県外や市外からの生徒にとっては、やはり通学に係る時間は大きく、通学時間を短縮することにより、部活動や学習の時間を確保できる。

・他校にはない独自のカリキュラムがあること⇒例としては、「地域学習」など独自の科目や国際科などの独自のコースがあったり、進路選択に応じて授業選択できるなど。

・生徒が主体的に決めていけるような環境があること⇒例としては、校則等を自分たちで変えていけたり、自分で授業を選んだりするなど

・部活動が充実していること⇒部活動が強い、やりたい部活がある等、部活は生徒の高校選択に大きく影響していると考えられる。

※今回のワークショップの内容を受けて、2学期終了後の合同職員研修で情報共有及びワークショップを行う予定である。

〈次回の委員会について〉

- ・第4回委員会は11月8日（火）15:30～17:00に実施予定